

第46回日広連東北地区公共キャンペーン作品展

【概況】 令和5年10月7日、秋田県大仙市「大曲市民交流センター 講堂」に於いて、秋田県屋外広告美術協同組合の担当により作品展を実施した。

東北各県より出展された全26作品は、統一テーマの「自然環境(地球)」に沿って製作され、屋外広告業者としての技術や素材を活かした作品に、審査委員も驚かされていた。

今回の作品審査会では、審査委員4名(男女各2名)により厳正な審査を行っており、審査委員長には秋田県立横手清陵学院中・高等学校美術科教諭の田口朋美氏、審査委員として、日本画家で美術教室講師の柴田千紘氏とグラフィックデザイナーの若狭一久氏、国土交通省都市局公園緑地・景観課 景観・歴史文化環境整備室企画専門官の下平弘和氏の方々にご協力を頂戴している。



またこの審査会では、当連合会技術開発委員会佐藤寧副委員長(岩手県)と同委員会の瓜田委員(秋田県)の2名が審査会全般の運営を行い、審査状況を見届けていただいた。その結果入選8作品が決定した。

第1位の国土交通大臣賞に山形県の(株)山新建装(佐藤裕司氏)、第2位の日広連会長賞に宮城県の(株)日の丸ディスプレイ仙台(ヘイン・ジン氏)、第3位の東北地区連会長賞に山形県の桜井看板(武田裕之氏)、第4位の全国広告美術技能士会連合会会長賞に岩手県(有)ナイガイ(佐藤優氏)、サインクリエイター協会賞に秋田県の(有)ビッグアート(煤賀繁広氏)、優秀賞の3作品は順に宮城県の(株)オオウチ工芸(津軽細美氏)、青森県の(有)千葉看板(千葉みのり氏)、宮城県の(株)アベ美装(坂東大地氏)の皆様である。おめでとうございます。

なお、上位3作品は令和6年3月の秋田県鹿角市で行われる東北大会会場に展示公開されることになっている。

This is New Fashion...!...?



なくそう! 海洋ゴミ

第1位 国土交通大臣賞
山形県 (株)山新建装 佐藤裕司氏

インターネット上で海洋動物が網に絡まって身動きが取れなくなっている状態が動画で流れている。人間が作り出した『ゴミ』によって自由を奪われてしまう。命を落としてしまう。この事実は周知されている。あえて、「新しいファッション?」「斬新すぎない?」という言葉で皮肉って問題提起している。シンプルな画面構成と丁寧な描写でしっかりと明確にメッセージは伝わってくる。



第3位 東北地区連会長賞
山形県 桜井看板 武田裕之氏

「バイオマス発電」は知名度が低い。その周知に特化し、代表的な燃料となる木を魅力的に使っている。画面構成が美しく、額も合わせたことで完成度が増してより美しい。文字の使い方もシンプルで見やすい。伝えたいことが明解だ。



第2位 (社)日広連会長賞
宮城県 (株)日の丸ディスプレイ仙台 ヘイン・ジン氏

言葉はなくシンプルでありながら、対比によって表された世界で見てすぐに作者の意図は伝わる。ありふれた表現と思いつつも、色と形の対比が美しく、洗練されている。細部にわたって丁寧な仕事が見て取れ、額なども含め作品として作りこみの技術、完成度が高い。